

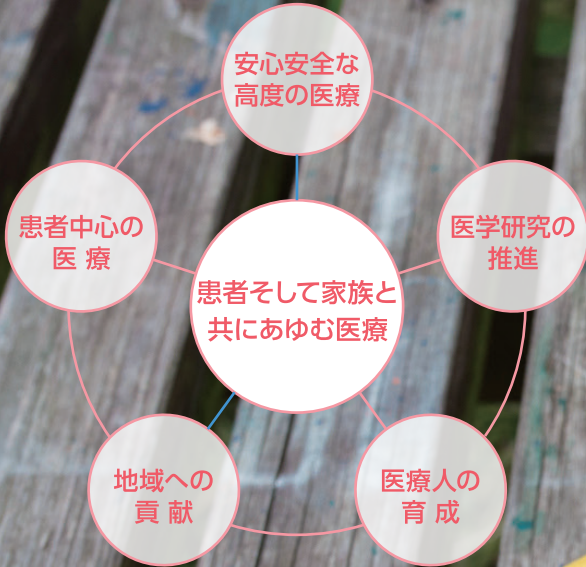


医療連携だより [アシスト]

ASSIST

2019.6
No.47

帝京大学医学部附属病院



contents

主任教授就任のご挨拶

精神神経科学講座 主任教授
メンタルヘルス科科长 林 直樹

地域がん診療連携拠点病院 (高度型)のご紹介

主任教授就任のご挨拶

地域のメンタルヘルス科としてお役立てください

精神神経科学講座 主任教授
メンタルヘルス科科长 林直樹

このたび、メンタルヘルス科科长（主任教授）に就任いたしました林直樹といたします。私たちは、地域に開かれたメンタルヘルス科として皆さまのお役に立つよう力を尽くしたいと考えています。

この場をお借りして私たちの診療科の紹介をさせていただきます。昨今、メンタルヘルスは現代人に深く関わるテーマになっていきます。このストレス社会では、誰でもが精神的不調に見舞われる可能性があまりあります。精神科診療では、これまで蓄積されてきた医学的な技能・技術を使って、さまざまな精神的な問題を抱えている方々のメンタルヘルスの向上・回復が目指されます。

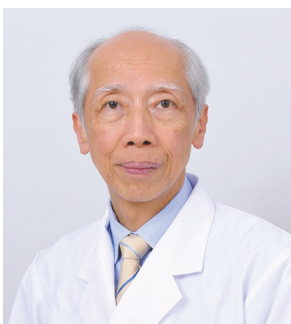
私たちは、気分障害（うつ病など）、不安障害（パニック障害など）、統合失調症、パーソナリティ障害などの幅広い精神疾患や精神的問題に対して専門医療（心理社会的治療、薬物療法、精神療法など）を行っています。入院治療では、精神保健福祉

士、心理士などから構成される多職種チームによる多方面からの治療・援助を実施しています。デイケアでは、地域生活支援のプログラムが中心ですが、認知機能のリハビリテーション（VCA T-Jプログラム）や主に青年期の人を対象とする就学・就労支援が特色となっています。また、コンサルテーション・リエゾン診療（他の診療科に受診されている方に必要に応じて実施される精神科診療）も私たちの大切な業務です。さらに、精神科専門診療として「もの忘れ（認知症）検査入院」、「児童・思春期専門診療」を実施しています。地域医療への貢献は、私たちの特に重要な目標です。板橋区・北区・豊島区・練馬区などを中心とする地域の皆さまに、精神科クリニックや社会復帰施設などと連携しながら、良質な医療サービスを提供するよう努力します。どうかよろしくお願ひ申し上げます。



Staff

主任教授	林直樹
教授	栃木 衛
病院教授	伊東 ゆたか
病院准教授	赤羽 晃寿
講師	渡邊 由香子
助教	松村 謙一
助教	金井 理恵
助教	金田 渉
助手	押久 保岳
助手	渡邊 公聡
助手	三宅 浩司



精神神経科学講座 主任教授
メンタルヘルス科科长
林直樹（はやし なおき）

1980年東京大学医学部卒業、都立松沢病院勤務などを経て、2013年より帝京大学医学部附属病院に病院教授として勤務、2015年より教授、2019年4月より現職。
日本精神神経学会専門医・指導医、精神保健指定医・判定医、日本精神衛生会理事など

お問い合わせ先：

帝京大学医学部附属病院
医療連携室

TEL: 03-3964-1498

FAX: 03-3964-9849

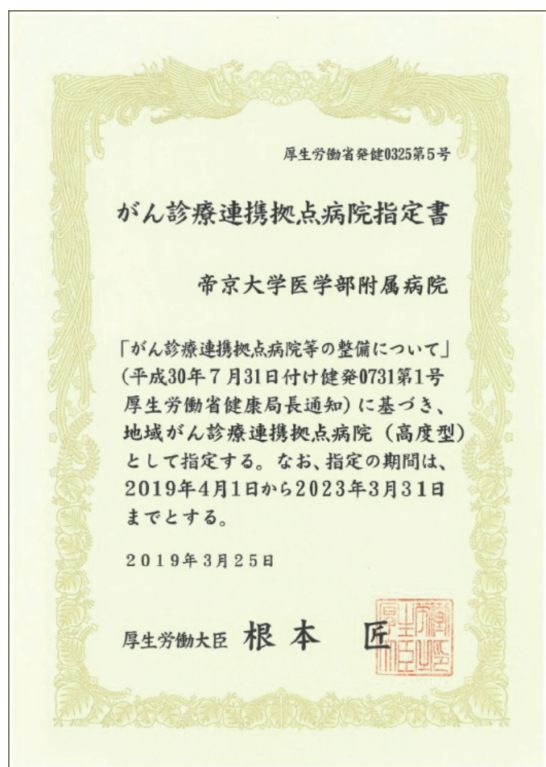
紹介状をお持ちの方の初診外来予約。

地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定を受けました

帝京大学医学部附属病院は2008年2月8日以降、地域がん診療連携拠点病院として地域がん診療の中核を担って参りましたが、この度、2019年4月1日付で地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定を受けました(図1)。

従来、全国の地域がん診療連携拠点病院は国が定めた一律の診療基準を満たすことを求められてきました。しかしながら、各拠点病院間で診療実績や体制に大きなバラつきがあることが課題となっていました。

(図1) 地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定書



そのような折、2019年4月1日から、全国に339施設ある地域がん診療連携拠点病院が、刷新された指定要件に基づき14施設からなる「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」と325施設からなる「地域がん診療連携拠点病院」に再分類された(表1)。「高度型」の指定要件は、従来の指定要件に加え、さらに6つの要件を満たすことが求められています(表2)。

帝京大学医学部附属病院では、これまで大規模な診療および支援する体制を整え、年間に2000名以上のがん患者さんに最先端の多角的医療を実践してきました。このたび、帝京大学医学部附属病院は下記の点で特に優れていると評価され、地域がん診療連携拠点病院(高度型)の指定を頂いたものと考えます。

帝京大学医学部附属病院は、全国14施設(東京都は4施設)中の1施設として「高度型」の指定を受けたことの重責を全うするべく、今後も地域がん診療への更なる貢献を目指して参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

評価をいただいたポイント

- ① 手術支援ロボットで低侵襲切除を追求する外科療法
- ② 高精度照射が実現可能となった放射線療法
- ③ 入院と外来とで同じ高い効果の薬物療法を安心・安全・快適に提供する外来化学療法室
- ④ 患者さんのあらゆる苦痛を包括的に改善するための緩和ケアチームや外来を中心とした緩和ケアセンター
- ⑤ 難治・希少がんや遺伝性腫瘍などの相談に応じ、質の高いがんゲノム診療を実施するがんゲノム医療支援室
- ⑥ 医療内容から経済的社会的問題まで網羅するがん相談支援センター
- ⑦ がん登録事業に参加し国や都のがん対策に資するがん登録室
- ⑧ 第三者の評価を受け監査委員会も整備している安全管理部

表1：がん診療連携拠点病院等の一覧表(2019年4月1日現在)
<https://www.mhlw.go.jp/content/000498489.pdf>

表2：地域がん診療連携拠点病院(高度型)に求められる6つの指定要件(概略)

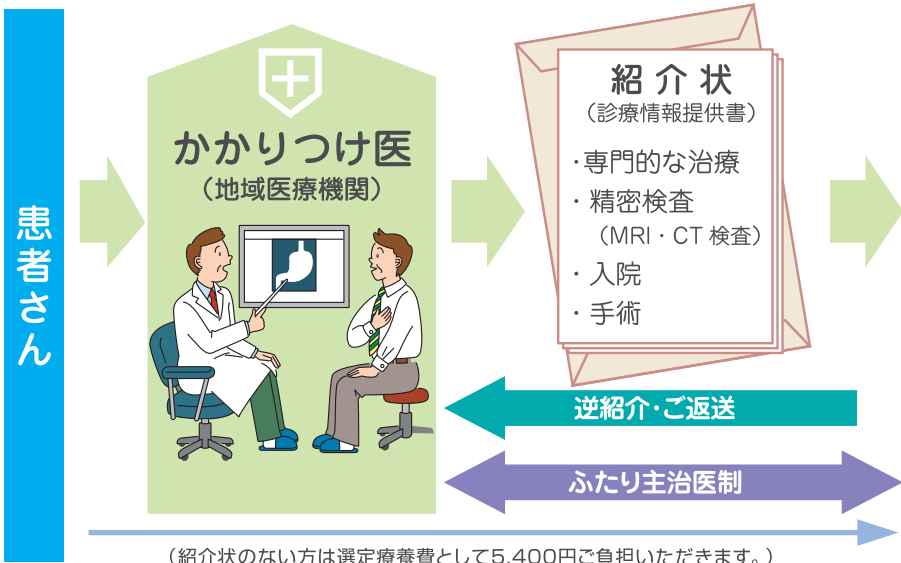
- | | |
|--|---|
| (1) 高度ながん診療を提供するために望ましいとされる要件を複数満たしている | (4) 緩和ケアの提供体制を整備している |
| (2) 診療実績が当該医療圏において最も優れている | (5) 相談支援業務の強化が行われている |
| (3) 高度な放射線治療を提供している | (6) 医療安全の管理体制について第三者の評価を受けるか、監査委員会を整備している |

帝京大学病院では紹介状があれば初診でも予約*ができます。

※事前にお電話下さい

医療連携の流れ

帝京大学病院では、かかりつけ医との機能分担をすることにより、専門的な治療(手術、入院、精密検査など)をおこないます。



(紹介状のない方は選定療養費として5,400円ご負担いただけます。)



帝京大学医学部附属病院
予約専用(医療連携室)
03-3964-1498

予約受付時間
平日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:30

初診受付

診療受付時間
平日 (予約あり) 8:30~14:30
(予約なし) 8:30~11:30
13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30

紹介状をお持ちの患者さん

- ① 予約電話(03-3964-1498)までお電話ください。
電話予約の際にご確認させていただく項目
(お名前、生年月日、性別、住所、電話番号など)
- ② 予約完了
- ③ 当日は15分前までに初診受付までお越しください。

紹介状をお持ちでない患者さん

- ◎ 初診受付
診療受付時間 平日 8:30~11:30/13:00~14:30
土曜日 8:30~11:30
直接初診受付へお越しください。
※当日の診察状況によっては受診できない場合もございます。



上の地図は略図のため、実際の地形とは異なりますのでご注意ください。

- 1 JR埼京線 十条駅
 - 北口より徒歩約10分
 - 北口ロータリータクシー乗り場より約6分
- 2 都営三田線 板橋本町駅
 - A1出口より徒歩約13分
 - A1出口より約6分
- 3 JR埼京線 板橋駅
 - 西口①番のりばより
帝京大学病院経由、王子駅行き 乗522 (約8分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
西口より約9分
- 4 JR各線 赤羽駅
 - 東口⑤番のりばより
高円寺駅北口行き 乗31 (約11分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 西口⑨番のりばより王子駅行き 乗50 (約14分)
 - 「上十条四丁目」バス停下車徒歩約5分
 - 西口より約12分
- 5 JR京浜東北線・東京メトロ南北線 王子駅
 - 北口⑥番のりばより
帝京大学病院経由、板橋駅行き 乗522 (約12分)
 - 「帝京大学病院」バス停下車
北口より約9分
- 6 JR各線・東京メトロ各線 池袋駅
 - 西口より約16分
- 7 東武東上線 上板橋駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約13分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
- 8 東武東上線 ときわ台駅
 - 北口①番のりばより王子駅行き 乗54 (約9分)
 - 「姥ヶ橋」バス停下車徒歩約5分
 - 北口より約12分

※所要時間は日中平常時、最短時間の目安となっておりますので、時間帯や道路状況により異なります。

① タクシーをご利用の場合 ② バスをご利用の場合 ③ 徒歩の場合



特定機能病院
地域がん診療連携拠点病院(高度型)
東京都災害拠点病院

帝京大学医学部附属病院

〒173-8606 東京都板橋区加賀2-11-1
TEL.03-3964-1211(代表)
お問い合わせ E-mail/renkei@med.teikyo-u.ac.jp



帝京大学病院 検索

www.teikyo-hospital.jp

小児外科



あいさつ

帝京大学小児外科は 1979 年に第二外科の診療グループとして発足しました。現在では小日本児外科学会による「教育関連施設」として認定を受けており、トレーニングを受けた小児外科専門医が新生児から中学生までの手術が必要なお子さまの治療にあたっております。

「からだのキズ」は「こころのキズ」とも言われております。当科では腹腔鏡手術に重点をおき、できるだけ体の負担が少なく目立たないキズになるように尽力しております。また、日本内視鏡外科学会の「技術認定」も取得し、安心・安全な腹腔鏡手術を提供できるよう日々研鑽を積んでおります。

親切・丁寧な医療をこころがけ、できるだけ多くのご家族やお子さまの不安が少しでも解消されるよう日々努力してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

診療の特色

小児外科では新生児から中学生までの手術が必要なお子さまの治療をしております。主に単経ヘルニア、停留精巣、臍ヘルニアといった疾患を加療しておりますが、肺、消化器、肝胆膵、腎臓、泌尿器、生殖器といった多くの臓器の疾患を扱うことができ、頸部から胸部、腹部までの全身の外科手術が可能であります。

神経芽腫、肝芽腫、腎芽腫、横紋筋肉腫といった悪性腫瘍の治療も行っております。

外来受付 TEL : 03-3964-1211 (代) 内線 : 30224

再診予約・変更電話 TEL : 03-3964-8657

受付時間 (月～金) 13:00～17:00

医療連携室 初診予約専用
初診で紹介状をお持ちの方

TEL:03-3964-1498

電話予約時間(平日) 8:30～17:00
(土曜日) 8:30～12:30

臍径ヘルニア手術

当施設では、臍径ヘルニア手術に力をいれており、腹腔鏡を用いた手術を導入しております。整容性に優れ、低侵襲、術後の疼痛も少ないのが特徴で、2014年4月から開始し、年間約100件の手術をおこなっています。

小児外科で最も多く治療している疾患で、臍径ヘルニア手術は比較的容易なものに分類されますが、外科の世界では「たかがヘルニア、されどヘルニア」とも言われており、一つ間違えると大きな合併症を引き起こす可能性のある手術であります。当施設ではビデオ学習、ドライラボ、アニマルラボといった腹腔鏡トレーニングシステムを導入し、安心・安全な医療を提供できるよう日々尽力しております。是非ご紹介していただくと幸いです。

小児IBD（炎症性腸疾患）治療

近年、小児期発症の潰瘍性大腸炎やクローン病といった炎症性腸疾患が増加傾向にあります。当院では消化器内科と下部消化管外科が協力してIBDセンターを立ち上げ、積極的に治療をおこなっております。当科でもIBDセンターのスタッフと協力し小児の炎症性腸疾患の診療にあたっております。

まずは、ステロイドや5-ASA製剤による治療のほか、難治症例には血球成分除去療法、生物学的製剤といった内科治療を行います。しかしながら、内科的治療が奏功しない重症例に対しては手術による切除が必要となることもあります。小児外科では単科で内科的治療から外科手術に至るまで一貫し診療することが可能であります。

長期間におよぶ腹痛や下痢、体重減少といった症状も炎症性腸疾患の可能性があります。入院または外来でそれぞれのお子さまに合った治療を行いますので、是非ご紹介ください。

「困った！」時は、まずは小児外科へ

お子さまの体の一部が「ふくれてきた」、「痛みがつづく」といった場合は小児外科の得意分野です。また、小児のありとあらゆる臓器、疾患を治療している「なんでも屋」でもあります。「よく判らない、困った」という場合にも対応いたしますので、お気軽にご紹介いただくと幸いです。

万が一手術が必要となったとしても、小さくて目立たない、きれいなキズになるよう全力を尽くしておりますので、安心して臨んでいただきたいです。

小児外科城北地域ネットワークについて

ご紹介いただいたお子さまを、責任を持ち診察・治療させていただくために、帝京大学医学部附属病院小児外科—日本大学医学部附属板橋病院小児外科—東京都立大塚病院小児外科の3施設で小児外科城北地区ネットワークを構築しています。

このネットワーク3施設で、緊急手術や病床のコントロールなどを調整しあうシステムです。当院で緊急手術や病床満床のため受け入れ困難な状況でも、このシステムを利用し、ご紹介医の皆様にお手間をかけることなくスムーズに患者さんに適切な医療を提供することが可能となっております。いずれの施設とも小児外科専門医が常駐しています。当院が緊急手術や病床満床の場合でも、当科スタッフが迅速に受け入れ調整を行いますので、安心してご紹介ください。

PROFILE

小児消化器外科 講師

細田 利史（ほそだ としふみ）



専門分野

小児消化器外科
小児外科一般
腹腔鏡手術

所属学会・資格

日本外科学会・専門医
日本小児外科学会・専門医、評議員
日本内視鏡外科学会・技術認定医
日本周産期・新生児医学会
小児慢性特定疾患指定医
NST医師

経歴

2001年 日本大学医学部卒・日本大学医学部第一外科入局
2004年 日本大学小児外科入局
2008年 日本大学大学院医学研究科卒
2014年 帝京大学外科入局
2015年 帝京大学外科助教
2017年 帝京大学外科講師

小児消化器外科 助教

石岡 茂樹（いしおか しげき）



専門分野

小児消化器外科
小児外科一般

所属学会・資格

日本外科学会・専門医
日本小児外科学会・評議員
日本内視鏡外科学会
日本周産期・新生児医学会
小児慢性特定疾患指定医

経歴

2005年 日本大学医学部卒・日本大学小児外科入局
2011年 日本大学大学院医学研究科卒
2018年 帝京大学外科入局・助教

PET-CT検査について



PET-CT検査について

帝京大学医学部附属病院では ^{18}F -FDG (fluorodeoxyglucose) による腫瘍シンチグラフィを行っています。 ^{18}F -FDGは放射性同位元素である ^{18}F をグルコースに標識したもので、糖代謝の亢進している細胞に集積する事が知られています。腫瘍細胞によく取り込まれ、癌の診断や病期決定に有用です。炎症巣にもよく取り込まれ、大動脈炎の検出や経過観察にも有用です。

^{18}F -FDGを用いたPET-CT検査は検出力や正診率にすぐれ、癌の診断・治療には欠かせない検査の一つになっています。腫瘍代謝を画像化する検査であるため、形態診断であるCTやMRIなどとの併用により、さらに正診率を上げる事ができます。本院では、最先端のCTやMRIも完備されています。

PET-CT検査の実際

患者さんには原則として絶食して来院していただき、 ^{18}F -FDGを静脈注射いたします。注射の1時間30分後に撮影をいたします。撮影時間は20分程度です。侵襲的でなく、痛みや苦痛がない検査です。検査後の制約は原則としてありません。

PETの大きな利点として全身撮影が短時間で可能であ

る点があります。CTやMRIでは全身画像は得難いですが、癌の転移は全身いずれの部位に起こる可能性もあります。放射線被曝を伴いますが、被曝量が少ないため本検査によって障害が起きる事はありません。

PET-CT検査の限界

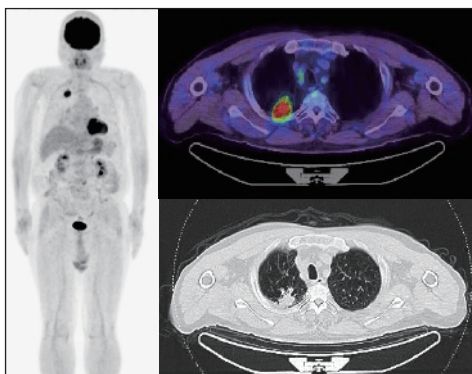
癌の種類や場所によってはPET検査の感度が低下します。スリガラス状陰影を呈する肺癌、早期の胃癌や大腸癌、膀胱癌、腎癌の一部、肝癌の一部などです。

血糖値が高いと腫瘍細胞への ^{18}F -FDGの取り込みが低下します。糖尿病患者さんなどでは、特別な処置が必要な場合があります。

大きさの小さな癌の検出感度は低下します。1cm直径程度が目安です。

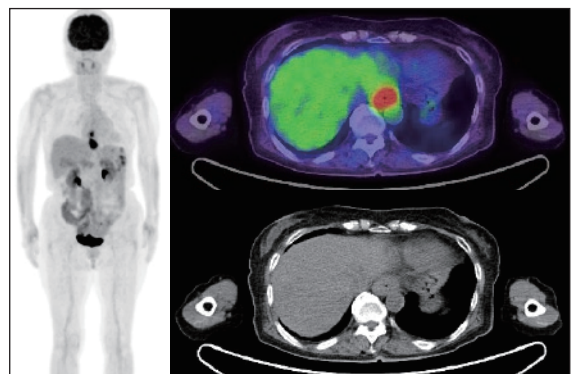
PET-CT検査のお申込み

放射線予約係(裏面参照)にご連絡いただくようお願いいたします。PET-CT検査に関してご質問がある場合も、上記にお問い合わせください。患者さんでご希望のある方は、主治医の先生からご連絡いただきますようお願いいたします。



右上葉肺癌(転移なし)

右上葉の不整形の結節に集積が認められる。



食道癌、リンパ節転移

胸部下部から腹部食道の壁肥厚と集積が認められる。全身像で癌腫の上部にリンパ節転移への集積が認められる。

最新のリニアックについて

がん診療を支える大切な柱の一つとして放射線治療があります。帝京大学医学部附属病院では最先端の放射線治療機器（リニアック）による外部照射と主に子宮がんに対する小線源治療を行っています。当院の特徴として‘患者さんにやさしい’治療の提供を目指しており、とりわけ腫瘍に治療ビームを高精度に集中する IMRT

や、短時間に IMRT を完了する VMAT 法を多く行っている点が挙げられます。患者さんの多い乳がんでは、治療中もリアルタイムに位置照合する、息止めにより心臓被曝を避ける、等の工夫をしています。医療連携関連施設や先生方におかれましては、是非患者さんのご紹介をお願い申し上げます。

外来受付 TEL : 03-3964-1211 (代) 内線 : 32007

再診予約・変更電話 TEL : 03-3964-8515
受付時間 (月～金) 13 : 00～17 : 00

医療連携室 初診予約専用
初診で紹介状をお持ちの方

TEL:03-3964-1498

電話予約時間(平日) 8:30～17:00
(土曜日) 8:30～12:30

放射線検査予約

一般撮影・CT・MRI・核医学

放射線検査予約係にお電話をいただき、
検査種別と検査日時をお伝えください。

患者さんのお名前と当院診察券の有無(診察券番号)
を伺います。お持ちの際はお手元にご準備ください。

検査日が決まり次第、貴院宛に【放射線検査予約票】
をFAXで送信いたします。

【診療情報提供書(紹介状)】及び
【放射線検査予約票】を患者さんにお渡しください。
検査当日にご持参いただきます。

診療情報提供書には、放射線検査が
目的である旨をお書きください。



放射線検査予約係

電話 : 03-3964-1211
内線 : 32224
FAX : 03-3964-1067(直通)
受付時間(平日)8:30～16:30
(土曜)8:30～12:00

PET-CT

まずは放射線検査予約係にお電話ください。
(電話 : 03-3964-1211 内線 : 32224)
FAX送信いたします。

【PET-CT検査依頼票】
【問診・保険適用要件チェックリスト】を記入し
放射線予約係までFAX送信をお願いいたします。
(FAX : 03-3964-1067)

自費による検査を希望される方は、
【同意書】を作成して頂き、FAXをお願いいたします。
なお、【同意書】原本は検査当日にお持ちいただきます。

翌日、届いた書類内容より当院医師が
保険適応の有無を確認し、
検査日時と併せて【放射線検査予約票】
【PET検査を受ける方へ】をFAXで返信いたします。

検査薬剤手配の都合により、
依頼日より1週間後以降の検査日となります。

【診療情報提供書(紹介状)】及び
【放射線検査予約票】を患者さんにお渡しください。
検査当日にご持参いただきます。

診療情報提供書には、放射線検査が
目的である旨をお書きください。